



文部科学  
大臣賞



南山大学

# Raymond Renovation Project

2017-2021



文教施設等  
分野

## 南山大学「レーモンド・リノベーション・プロジェクト」によるキャンパスの改修

### 取組概要

大学の様々な活動を支える重要なインフラであるキャンパスの改修において、日本のモダニズム建築の再評価と文化の醸成を目指す取組を行った。1964年創建のキャンパス全体が建築家アントニン・レーモンド氏の設計という特徴から「レーモンド・リノベーション・プロジェクト」という設計者の名前を冠したプロジェクトを立ち上げ、創建当時から守られてきた建築群の美しさを活かした改修を行った。同時に、学生や教職員、周辺地域への幅広い周知と社会文化活動の強化を行った。

### 受賞理由

日本モダニズム建築の特徴を大いに残しているキャンパス施設に対し、重要文化財（建造物）保存活用計画策定指針の改修手法を取り入れ、歴史的建築物の保存と教育環境の現代化の両面に取り組んだ点や、本取組を大学の公式のプロジェクトとして立ち上げ、利用者・管理者の意識・知識の向上を図っている点などが高く評価された。

### 取組のポイント

建築家アントニン・レーモンド氏設計の日本モダニズム建築を色濃く表す校舎に対して、文化庁作成の重要文化財（建造物）保存活用計画策定指針の「保護の方針」の定義とカテゴリーを改修手法に取り入れた点が特徴である。その結果、教育環境への設備拡充を行いながら、キャンパス・マスタープランと建築の設計理念および価値を長期的に守る改修手法を構築した。同時に、取組を大学公式プロジェクトとして広く周知することで、教職員および幅広い層への共感と多数の協力を得ることができ、運用の質や持続可能性が向上している点が特徴である。

### 受賞者について



#### 受賞者

学校法人 南山学園 南山大学  
株式会社 日本設計 株式会社 大林組

#### コメント

この度は名誉ある文部科学大臣賞をいただき、大変光栄に存じます。このプロジェクトに関わっていただいたすべてのみなさまに、あらためて感謝申し上げます。この受賞を励みに、今後もキャンパス整備に取り組み、価値あるレーモンド建築を次世代に継承していきます。

#### 団体概要

南山大学は、共学の大学としては中部唯一のカトリック系ミッションスクールです。創立から70年以上を経た現在、近代建築の遺跡を学舎とする誇りを醸成し、更なる教育環境の充実を推し進めています。日本設計は調査・基本設計・発注者支援を担当し、大林組は実施設計・監理・施工を担当しています。運営、設計者、施工者がひとつのチームとなっており、より良い教育環境の整備に向けて取り組んでいます。

#### 問い合わせ先

学校法人 南山学園 南山大学 学長室  
052-832-3111(代表)  
gaku-koho@nanzan.ac.jp  
<https://www.nanzan-u.ac.jp>